

平成24年度

病害虫情報(第7号) 10月予報

平成24年9月27日
神奈川県農業技術センター所長

【内容】

- I 10月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点 1
- II 防除情報 酸化フェンブタズ(オサダン、ツインパック等)・ジチアノン(デラン等)が毒物・劇物に指定されます! 6
- III 10月の病害虫発生予報の内容とその根拠 7
- IV 10月の気象予報及び気象の経過 10

農薬を使用する際は、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。
掲載農薬は一般的な場合を想定し、防除効果を優先して選定しています。
収穫期の作物が近接している場合など、個別に残留基準値の設定状況を考慮する必要がある場合は関係機関にご相談ください。

病害虫防除部 TEL 0463-58-0333
 テレホンサービス TEL 0463-58-6612
 インターネット <http://www.agri-kanagawa.jp/nosoken/boujo.asp>

* 農薬に関する情報は、平成24年9月12日までの農薬登録情報に基づいて記載しています。

I 10月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点

※ [防除要否] ◎:追加防除が必要 ○:通常防除 △:必要に応じて防除 ×:防除の必要なし

[発生・防除時期] 発生時期 ~~~~ 多発時期 感染時期 ←-----→ 防除適期

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				10月			11月		
				上	中	下	上		
カキ	生育	やや遅		《着色期》				<生育調査：足柄地区事務所根府川分室・普通温州>	
	ミカンハダニ	並	○	~~~~	~~~~	~~~~	~~~~	ダニサラバフロアブル [前日, 2回] 1,000~2,000倍 オマイト水和剤 みかん: [7日, 2回]、 みかんを除くかんきつ: [14日, 2回] 750倍等	・オマイトは10月下旬以降に使用する。
カキ	カメムシ類	並	○	~~~~	~~~~	~~~~	~~~~	ロディー乳剤 [7日, 4回] 2,000倍 アルバリン 又は スタークル顆粒水溶剤 [前日, 3回] 2,000倍等	・園内をよく見回り、発生を確認したら直ちに防除する。
ナシ	黒星病	多	◎	~~~~	~~~~	~~~~	~~~~	(予・治)ポリペリン水和剤 [14日, 3回] 1,500倍 (予・治)オンリーワンフロアブル [前日, 3回] 黒星病: 2,000~4,000倍 うどんこ病: 2,000倍等	・今年、黒星病が発生した園で9月に防除を行っていない場合は、この時期に必ず防除する。
	うどんこ病	並	○	~~~~	~~~~	~~~~	~~~~		
カキ	カメムシ類	並	○	~~~~	~~~~	~~~~	~~~~	アルバリン 又は スタークル顆粒水溶剤 [前日, 3回] 2,000倍 アグロスリン水和剤 [前日, 3回] 1,000~2,000倍等	・園内をよく見回り、発生を確認したら直ちに防除する。

病害虫情報

(H24・No. 7)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				10月		11月			
				上	中	下	上		
チヤ	カンザワ ハダニ	並	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	マシン油乳剤 (97%, 98%) 等	<ul style="list-style-type: none"> マシン油乳剤の使用方法は各剤の使用基準に従うこと。 ハダニは秋に防除することで、大きな効果が得られる。 チャトゲコナジラミは、幼虫がすそ葉の葉裏に多く寄生するので、散布前にすそ刈りを行い、すそ部から茶株の頂上部に向けて斜め上方に薬液を散布する。
	チャトゲ コナジラミ	-	△	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~		
抑 制 キ	うどんこ病	やや少	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	(予)インプレッション水和剤 [発病前~発病初期, -] 500~1,000倍 (予・治)アフエットフロアブル [前日, 3回] 2,000倍 (予・治)パンチョTF顆粒水和剤 [前日, 2回] 2,000倍 等	<ul style="list-style-type: none"> 乾燥で発生が助長されるので、日中の過乾燥に注意する。 パンチョTFはトリフルミゾールを含む混合剤。トリフミン等は同じ成分を含む。
	べと病	多	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	(予・治)ランマンフロアブル [前日, 4回] 1,000~2,000倍 (予・治)ホライズンドライフロアブル [前日, 3回] 2,500倍 等	<ul style="list-style-type: none"> 草勢低下と夜間の結露等による葉の濡れが発生を助長する。 ホライズンはシモキサニルを含む混合剤。カーゼートPZ、プリザード、ベトファイター等は同じ成分を含む。
	褐斑病	並	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	(予・治)ベルクートフロアブル [前日, 5回] 2,000倍 (予・治)カンタスドライフロアブル [前日, 3回] 1,500倍 等	<ul style="list-style-type: none"> 多湿状態で施設を密閉すると蔓延しやすく、夜間の結露等による葉の濡れが発生を助長する。 ベルクートはうどんこ病にも適用あり。
ユ ウ リ	アザミウマ類 ミナミキイロ アザミウマ (MYSV)	やや多	◎	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	スピノエース顆粒水和剤 [前日, 2回] アザミウマ類、ウリノメイガ、ハモグリバエ類： 5,000倍 モスピラン水溶剤 [前日, 3回] アザミウマ類：2,000~4,000倍 コナジラミ類、ウリノメイガ：2,000倍 カスケード乳剤 [前日, 4回] ミナミキイロアザミウマ：2,000~4,000倍 ウリノメイガ、トマトハモグリバエ：2,000倍 コロマイト乳剤 [前日, 2回] コナジラミ類：1,500倍 トマトハモグリバエ：1,000倍	<ul style="list-style-type: none"> 施設内外の除草を徹底するとともに、栽培に関係のない鉢物等を施設内に持ち込まないこと。 モスピラン(2,000~4,000倍)はアブラムシ類にも適用あり。 コロマイト(1,000~1,500倍)はハダニ類にも適用あり。 サンマイトはハダニ類、アブラムシ類、うどんこ病にも適用あり。
	コナジラミ類 タバコ コナジラミ (CCYV)	多	◎	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	サンマイトフロアブル [前日, 2回] コナジラミ類：1,000~1,500倍 等	
	オンシツ コナジラミ	少	△	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~		
	ハモグリバエ類 ワタハリ クロノメイガ (ウリノメイガ)	やや少 やや少	△ △	△ △	~~~~~	~~~~~	~~~~~		

病害虫情報

(H24・No. 7)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				10月			11月		
				上	中	下	上		
抑制	うどんこ病 葉かび病 灰色かび病	— — —	△ △ △	←→		←→		(予)インプレッション水和剤 [発病前～発病初期, —] 葉かび病: 500倍 うどんこ病、灰色かび病: 500～1,000倍 (予・治)カンタスドライフロアブル [前日, 3回] 葉かび病、灰色かび病: 1,000～1,500倍 (予・治)パンチョTF顆粒水和剤 [前日, 2回] うどんこ病: 2,000倍 等	・パンチョTFはトリフルミゾールを含む混合剤。トリフミン等は同じ成分を含む。
	コナジラミ類 タバコ コナジラミ (TYLCV) アブラムシ類 (CMV等) アザミウマ類 (TSWV)	多 (多) やや少 並	◎ △ ○	~~~~~ ←→	~~~~~ ←→	~~~~~ ←→	~~~~~ ←→	ベストガード水溶剤 [前日, 3回] コナジラミ類、アブラムシ類: 1,000～2,000倍 アザミウマ類: 1,000倍 マッチ乳剤 [前日, 4回] コナジラミ類: 2,000倍 ミカンキイロアザミウマ: 1,000～2,000倍 アニキ乳剤 [前日, 3回] コナジラミ類、ミカンキイロアザミウマ: 1,000～2,000倍 エコピタ液剤 [前日, —] コナジラミ類: 100～200倍 アブラムシ類: 100倍 等	・マッチはトマトサビダニ(2,000倍)、ハモグリバエ類(1,000倍)、ハスモンヨトウ(3,000倍)、オオタバコガ(2,000～3,000倍)にも適用あり。 ・アニキ(2,000倍)はハスモンヨトウ、オオタバコガ、ハモグリバエ類にも適用あり。 ・エコピタ(100倍)はハダニ類、うどんこ病にも適用あり。
促成	コナジラミ類 タバコ コナジラミ (TYLCV) アブラムシ類 (CMV等) アザミウマ類 (TSWV)	多 (多) やや少 並	◎ △ ○	播種 ←→	育苗期 ←→			【育苗培土混和】 ベストガード粒剤 [は種時又は鉢上げ時, 1回] コナジラミ類、アブラムシ類: 5g/培土L 【育苗期: 株元散布】 アルバリン 又は スタークル粒剤 [育苗期, 1回] コナジラミ類: 1～2g/株 アドマイヤー1粒剤 [育苗期後半, 1回] コナジラミ類: 0.5～1g/株 【育苗期: 散布】 ベストガード水溶剤 [前日, 3回] コナジラミ類、アブラムシ類: 1,000～2,000倍 アザミウマ類: 1,000倍 コルト顆粒水和剤 [前日, 3回] コナジラミ類、アブラムシ類: 4,000倍 等	・コナジラミ類防除は、飛び込み抑制として施設のネット展張、発生確認として黄色粘着板の吊下げが望ましい。さらに施設内外の除草を徹底すること。 ・アルバリン、スタークルはハモグリバエ類にも適用あり。

病害虫情報

(H24・No. 7)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				10月			11月		
				上	中	下	上		
イ	うどんこ病	-	○	←→		←→		(予)インプレッション水和剤 [発病前～発病初期, -] 500～1,000倍 (予・治)トリフミン水和剤 [前日, 5回] 3,000～5,000倍 (予・治)ポリオキシシンAL水和剤 [収穫開始14日前, 3回] 1,000倍 (治)サンクリスタル乳剤 [前日, -] 300～600倍 等	・インプレッションは果実汚れが問題となる時期には2,000倍(イチゴ適用)散布とする。 ・インプレッション、ポリオキシシンALは灰色かび病にも適用あり。
	アブラムシ類	やや少	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	サンクリスタル乳剤 [前日, -] 300倍 モスピラン水溶剤 [前日, 2回] 2,000～4,000倍 等	・モスピラン(2,000倍)はアザミウマ類、コナジラミ類にも適用あり。
チ	ハスモン ヨトウ	やや多	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	コテツフロアブル [前日, 2回] 2,000倍 アフアーム乳剤 [前日, 2回] 2,000倍 等	・コテツはミカンキイロアザミウマ、ハダニ類、シクラメンホコリダニにも適用あり。 ・アフアームはオオタバコガ、ヨトウムシ、ハダニ類にも適用あり。
ゴ	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【ミツバチへの影響】メーカー情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・影響のない剤 (散布乾燥後導入可) インプレッション トリフミン サンクリスタル モスピラン (1日) ・影響があり、導入に注意が必要な剤 コテツ (10日、開花期以降使用しない) </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【天敵を導入する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の剤は、天敵を導入する約2週間前までに使用する。 ポリオキシシンAL モスピラン コテツ アフアーム </div> </div>								
ネ	さび病 黒斑病	並多	○ ○	←→	←→			(予・治)サブロール乳剤 [7日, 5回] さび病: 800～1,000倍 (予・治)アミスター20フロアブル [3日, 4回] 2,000倍 等	・発生初期の防除を徹底する。 ・固着性の強い展着剤を加用すると、効果が安定する。 ・アミスターはべと病にも適用あり。
	ネギ アザミウマ	並	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	ハチハチ乳剤 [3日, 2回] 1,000倍 ディアナSC [前日, 2回] 2,500～5,000倍 ボタニガードES [発生初期, -] 500～1,000倍 等	・ハチハチはさび病、シロイチモジヨトウ、ネギコガにも適用あり。 ・ディアナはネギハモグリバエにも適用あり。
ギ	シロイチ モジヨトウ	やや多	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	ディアナSC [前日, 2回] 2,500～5,000倍 ファルコンフロアブル [前日, 2回] 4,000倍 等	

病害虫情報

(H24・No. 7)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期				今月の防除	防除のポイント
				10月			11月		
				上	中	下	上		
キ	黒腐病	やや多	○	~~~~~ ←→	~~~~~	~~~~~	~~~~~	(予)Zボルドー[-,-] 500倍 (予・治)カセット水和剤 [7日, 3回] 1,000倍	<ul style="list-style-type: none"> 強い降雨の後には、予防散布を行う。 Zボルドーには、クレフノン(100~200倍)を加用する。結球後に使用すると薬害を生じる可能性があるので注意する。 左記の2剤は軟腐病にも適用あり。 カセットはオキシソリニック酸とカスガマイシンの混合剤。スターナ、ナレート、カスミンボルドー等と同じ成分を含む。
	菌核病	-	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	(予・治)カンタスドライフロアブル [7日, 2回] 1,500倍 (予・治)トップジンM水和剤 [3日, 2回] 1,000~1,500倍等	
ベ	オオタバコガ	やや多	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	トルネードフロアブル [7日, 2回] ハスモンヨトウ: 2,000倍	<ul style="list-style-type: none"> 結球内に潜り込んだ幼虫には薬剤の効果が劣るので、結球前までの防除を徹底する。 トルネードはハイマダラノメイガにも適用あり。 フェニックス(2,000~4,000倍)はハイマダラノメイガにも適用あり。 マッチはハイマダラノメイガにも適用あり。
	ハスモンヨトウ	やや多	○	←→	←→	←→	~~~~~	フェニックス顆粒水和剤 [前日, 3回] オオタバコガ: 2,000倍 ハスモンヨトウ: 2,000~4,000倍 マッチ乳剤 [7日, 3回] ハスモンヨトウ: 3,000倍等	
ツ	ネギアザミウマ	-	○	~~~~~ ←→	~~~~~	~~~~~	~~~~~	プリンスフロアブル [14日, 2回] 2,000倍	<ul style="list-style-type: none"> プリンスはハイマダラノメイガ、オオタバコガにも適用あり。
ダ	ハイマダラノメイガ (ダイコンシンクイムシ)	やや少	○	~~~~~ ←→	~~~~~	~~~~~	~~~~~	ハチハチ乳剤 [14日, 2回] 1,000~2,000倍 オルトラン水和剤 又は ジェイエース水溶剤 [14日, 2回] ダイコンシンクイムシ: 1,500倍	<ul style="list-style-type: none"> ハチハチはカブラハバチ、白さび病・ワッカ症(1,000倍)にも適用あり。 また、10月下旬と11月上旬の散布がナモグリバエと白さび病の同時防除に効果的である。 オルトラン(1,500倍)はカブラハバチにも適用あり。 チューンアップはオオタバコガにも適用あり。
	アブラムシ類	やや少	○	~~~~~ ←→	~~~~~	~~~~~	~~~~~	パダンSG水溶剤 [7日, 3回] ダイコンシンクイムシ: 1,000倍 アブラムシ類: 1,500倍	
	ナモグリバエ	-	○	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	チューンアップ顆粒水和剤 [発生初期(但し、前日), -] ハイマダラノメイガ: 2,000~3,000倍等	

酸化フェンブタスズ(オサダン、ツインパック等)・ジチアノン(デラン等)が毒物・劇物に指定されます！

毒物及び劇物指定令の改正により、平成24年10月1日から酸化フェンブタスズとジチアノンが毒物(ジチアノン50%以下を含有する製剤は劇物)に指定されます。毒物・劇物に指定されることにより、酸化フェンブタスズやジチアノンを含む農薬の取扱いがこれまでと大きく変わります。次の1~4の事項に違反した場合は、毒物及び劇物取締法違反になります。

1 保管場所、保管方法が変わります！

医薬用外毒物または**医薬用外劇物**と表示した、鍵のかかる保管庫で保管しなければなりません。

2 製品に「医薬用外毒物」または「医薬用外劇物」の表示が必要になります！

手持ちの製品にも、平成24年12月31日までに「医薬用外毒物」または「医薬用外劇物」の表示をしなければなりません。なお、表示用のシールは、JAまたは農薬販売店で入手できます。

3 購入方法が変わります！

購入する際、身分証の提示と署名、捺印をしなければなりません。

4 事故の際の措置が変わります！

これらの農薬により事故が発生した場合は、保健所、消防署または警察署に直ちに届けなければなりません。

毒物に該当する農薬	
●オサダン水和剤	●オサダンフロアブル
●ツインパックフロアブル	
… 等、酸化フェンブタスズを含有する農薬	
劇物に該当する農薬	
●デランフロアブル	●デランK
●デランT水和剤	●ジアリン水和剤
… 等、ジチアノン50%以下を含有する農薬	

使用上の注意も変わります！

- 酸化フェンブタスズを含む農薬は、温室やハウスなどの施設では使用しないでください。
- 酸化フェンブタスズやジチアノンを含む農薬の散布液の調整や散布の際には、不浸透性の防除衣や防護マスク等を着用してください。

なお、いずれの農薬も、適用内容(使用作物、対象病害虫、希釈倍数等)に変更はありません。

病害虫情報

(H24・No.7)

神奈川県農業技術センター

Ⅲ 10月の病害虫発生予報の内容とその根拠

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	年比	
カンキツ ミカンハダニ	少	並	1) 巡回調査では、発生は平年並。(±) 2) 県予察ほでは、発生は平年よりやや少ない。(－) 3) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(±)
カンキツ・カキ カメムシ類	少	並	1) 予察灯およびフェロモントラップへのチャバネアオカメムシの誘殺数は、平年並。(±) 2) 県予察ほ(根府川)の予察灯およびフェロモントラップへの誘殺数は平年よりやや多い。(＋) 3) 定点調査における、ヒノキ球果上のカメムシ寄生数は平年より少なく(－)、吸汁痕(口針鞘)数は平年より少ない(－)。 4) 県下全域における9月中下旬のヒノキ球果吸汁痕(口針鞘)数は、移動分散目安を超えた場所がない。(－) 5) カキの巡回調査では、発生は平年よりやや多い。(＋) 6) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(±)
ナシ 黒星病	少	多	1) 巡回調査では、発生は平年より多い。(＋) 2) 県予察ほでは、発生は平年よりやや多い。(＋) 3) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(＋)
うどんこ病	多	並	1) 巡回調査では、発生は平年並。(±) 2) 県予察ほでは、発生は平年より多い。(＋) 3) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(±)

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	年比	
チャ カンザワハダニ	少	並	1) 巡回調査では、発生は平年よりやや少ない。(－) 2) 県予察ほでは、寄生は見られず、発生は平年並。(±) 3) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(±)
抑制キュウリ うどんこ病	中	やや少	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや少ない。(－) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(±)
褐斑病	少	並	1) 巡回調査では、発病は見られず、発生は平年より少ない。(－) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(＋)
べと病	中	多	1) 巡回調査では、発生が平年より多い。(＋) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(＋)
オンシツコナジラミ	少	少	1) 巡回調査では、寄生は見られず、発生は平年より少ない。(－) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(±)
タバココナジラミ	中	多	1) 巡回調査では、発生が平年より多い。(＋) 2) 野外設置の黄色粘着板へのコナジラミ類の誘殺数は、伊勢原、藤沢ともに前年より多い。(＋) 3) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(±)

病害虫情報

(H24・No.7)

神奈川県農業技術センター

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
抑制キュウリ ミナミキイロアザミウマ	少	やや多	1) 巡回調査では、発生は平年並。(±) 2) 野外設置の青色粘着板への誘殺数は、平年より多い。(+) 3) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(±)
ハモグリバエ類	中	やや少	1) 巡回調査では、発生が平年より少ない。(－) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(±)
ワタヘリクロノメイガ	少	やや少	1) 巡回調査では、寄生は見られず、発生は平年より少ない。(－) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(±)
促成・抑制トマト タバココナジラミ (TYLCV)	少	多 (多)	1) 抑制キュウリの巡回調査では、発生が平年より多い。(+) 2) 抑制トマトの巡回調査では、寄生が見られ、トマト黄化葉巻病の発生が前年より多い。(+) 3) 野外設置の黄色粘着板へのコナジラミ類の誘殺数は、伊勢原、藤沢ともに前年より多い。(+) 4) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(±)
アザミウマ類	少	並	1) 抑制トマトの巡回調査では、被害が見られず、発生は前年並。(－) 2) 野外設置の青色粘着板への誘殺数は、ヒラズハナアザミウマ、ミカンキイロアザミウマとも平年より多い。(+) 3) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(±)

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
ネギ さび病	少	並	1) 巡回調査では、発病は見られず、発生は平年よりやや少ない。(－) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(+)
黒斑病	中	多	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや多い。 2) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(+)
ネギアザミウマ	多	並	1) 巡回調査では、発生は平年並。(±) 2) 野外設置の青色粘着板への誘殺数は、平年より少ない。(－) 3) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(±)
ネギコガ	少	やや多	1) 巡回調査では、発生が平年より多い。(+) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(±)
キャベツ 黒腐病	少	やや多	1) 巡回調査では、発病は見られず、発生は平年並。(±) 2) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(+)
コナガ	少	少	1) 巡回調査では、寄生は見られず、発生は平年より少ない。(－) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦、横浜とも平年より少ない。(－) 3) 県予察ほ(平塚)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(±) 4) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(±)

病害虫情報

(H24・No.7)

神奈川県農業技術センター

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
ダイコン ハイマダラノメイガ	少	やや少	1) 巡回調査では、キャベツで発生が平年並(±)、ダイコンで発生が平年よりやや少ない(-)。 2) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(±)
野菜全般 アブラムシ類	-	やや少	1) 巡回調査では、キャベツ、抑制キュウリともに発生は平年並。(±) 2) 県予察ほ(平塚)の調査では、黄色水盤への飛来量は平年より少ない。(-) 3) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(±)
オオタバコガ	-	やや多	1) キャベツの巡回調査では、寄生は見られず、発生は平年よりやや少ない。(-) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦、横浜とも平年より多い。(+) 3) 県予察ほ(平塚)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年より多い。(+) 4) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(±)

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
野菜全般 ハスモンヨトウ	-	やや多	1) キャベツの巡回調査では、寄生は見られず、発生は平年並。(±) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より少なく(-)、横浜では平年より多い(+) 3) 県予察ほ(平塚)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年より少ない。(-) 4) 病害虫防除員調査のフェロモントラップへの誘殺数は、海老名では平年より多い(+)。藤沢では平年より少ない(-)。相模原では平年より多い(+) 5) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(±)
シロイチモジヨトウ	-	やや多	1) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より少なく(-)、横浜では平年よりやや多い(+) 2) 県予察ほ(平塚)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや多い。(+) 3) 気温は平年より高く、降水量は平年より多い予報。(±)

(注) 「発生量」の表示 …… 程度：甚>多>中>少>無

平年比：多>やや多>並>やや少>少

「予報の根拠」 …… (+)：多発要因 (-)：少発要因

IV 10月の気象予報（気象庁 地球環境・海洋部 9月25日発表 3か月予報）

〈天 気〉

天気は数日の周期で変わるでしょう。

〈要素別予報〉

	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気 温	30%	30%	40%
降 水 量	30%	30%	40%

〈気象の経過〉 [観測地 横浜地方気象台]

9月第5半旬まで

気温は、1～4半旬まで平年より高く、5半旬は平年並だった。

降水量は、1、4、5半旬は多く、2、3半旬は平年より少なかった。

日照時間は、1、4、5半旬は平年並、2、3半旬は平年より多かった。

